



【 開催要領 】

第 244 回農林交流センターワークショップ
土壌を介した食の窒素循環の解析手法と予測手法

令和 7 年 3 月 6 日(木)～3 月 7 日(金)

| | |
|-----------|---|
| 内 容 | <p>食料生産～消費システム（フードシステム）全体を対象とした物質循環と環境負荷の把握、改善策の提示、具体的な行動への移行は、産学官全てに関わる重大な社会的課題となっており、国際連合の SDGs（No.12：つくる責任つかう責任、など）や農林水産省「みどりの食料システム戦略」の目標達成にも深く関わっています。</p> <p>本ワークショップでは、特に窒素に焦点を当て、産学官から広く参加者を募り、農地土壌を介した食に関わる窒素循環とその改善策について、解析・予測技術の習得だけでなく、総合討論を行い、今後の研究交流につなげることを目指しております。</p> |
| 期 間 | 令和 7 年 3 月 6 日(木)～3 月 7 日(金) |
| 受 講 方 法 | <p>【ハイブリッド形式による開催】※お申込み時、いずれかお選び下さい。</p> <p>1. オンライン受講 農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センターから配信にて開催いたします。インターネット環境と PC があれば、自席からご参加いただけるオンライン形式です。</p> <p>2. 対面式受講 筑波産学連携支援センター電農館 3 階セミナー室（茨城県つくば市観音台 2-1-9）</p> |
| 主 催 | 農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境研究部門 |
| 対 象 | 産学官の研究者・技術者・行政施策担当者等で、土壌を介した食の窒素循環の解析技術に関心のある方 |
| 募 集 人 数 | 15 名程度（全日程に参加することとし、代理の方の参加は認めていません。） |
| 日 程 | 日程表（別紙） |
| 申 込 方 法 | <p>筑波産学連携支援センターのホームページより、お申込みください。</p> <p>※ご所属機関で参加希望者を取りまとめて申し込みされる場合は、ホームページより申込書とアンケートをダウンロード後、ご所属機関の窓口にご提出いただき、ご所属機関の窓口から koryu7129@cc.affrc.go.jp 宛にメール添付にてお申込みいただきますようお願いいたします。</p> |
| 応 募 〆 切 り | 令和 7 年 2 月 3 日（月曜日）まで |
| 受 講 者 決 定 | 令和 7 年 2 月 1 0 日頃、メールにてお知らせいたします。 |
| 参 加 費 | 無料 ※受講後のアンケート回答は必須です（5～15 分程度）。 |
| そ の 他 | <p>会場受講ご希望の場合 宿泊施設利用の有無については、受講決定後、事務局より確認のご連絡をいたします。</p> <p>オンライン受講ご希望の場合 Microsoft Teams を使用します。 受講者は各種ブラウザからアクセスしていただきますので、専用ソフトのインストールは必要ありません。 ※本オンラインセミナーの録画・録音・撮影は禁止といたします。</p> |

(お申し込み・お問い合わせ先)

〒305-8601 茨城県つくば市観音台 2-1-9

農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター コーディネーション推進課 鈴木、木暮

TEL : 029-838-7136 FAX : 029-838-7204 E-mail : koryu7129@cc.affrc.go.jp

【日程表】

第244回農林交流センターワークショップ（オンライン講習会）
土壌を介した食の窒素循環の解析手法と予測手法
 令和7年3月6日(木)～3月7日(金)

3月6日(木)

| | | | |
|-------------|----|---------------------------|-------|
| 10:00-10:05 | 挨拶 | 本ワークショップについて | 江口 定夫 |
| 10:05-11:00 | 実習 | 土壌を介した食の窒素循環、窒素フットプリント概説 | 江口 定夫 |
| 11:00-12:00 | 実習 | 土壌中の窒素動態予測モデルLEACHM概説 | 朝田 景 |
| 13:00-16:00 | 実習 | LEACHMのWebツールによる窒素動態予測（1） | 朝田、江口 |
| 16:00-16:30 | 実習 | 質疑応答 | 江口、朝田 |

3月7日(金)

| | | | |
|-------------|----|------------------------------|-------|
| 10:00-11:00 | 実習 | 食の窒素フロー、耕畜食連携システム、堆肥による減肥等概説 | 江口 定夫 |
| 11:00-12:00 | 実習 | 食の窒素フットプリント計算ソフトによる評価手法 | 江口 定夫 |
| 13:00-14:00 | 実習 | LEACHMのWebツールによる窒素動態予測（2） | 朝田、江口 |
| 14:00-15:00 | 実習 | 土壌からの窒素溶脱等モニタリング手法 | 江口、朝田 |
| 15:00-16:00 | 実習 | 総合討論、質疑応答 | 江口、朝田 |

【ワークショップ講師】（◎：コーディネーター）

◎江口 定夫（農研機構 農業環境研究部門 土壌環境管理研究領域 主席研究員）

◎朝田 景（農研機構 農業環境研究部門 土壌環境管理研究領域 主任研究員）